

JAおちいまばり 半期ディスクロージャー

(令和6年9月末基準)

(1) 金融再生法開示債権 (単体)

(単位：百万円)

債権区分	令和6年9月末	令和6年3月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	88	131	△ 43
危険債権	118	78	40
要管理債権	-	-	-
三月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	-	-	-
正常債権	59,399	60,667	△ 1,268
合 計	59,606	60,876	△ 1,270

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権をいいます。
3. 「要管理債権」とは、4. 「三月以上延滞債権」と5. 「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取り決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
6. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

(2) 単体自己資本比率 (国内基準適用)

令和6年9月末	令和6年3月末
15.94%	14.94%

- (注) 平成19年3月末より、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農林水産省告示2号)の規定に基づいて自己資本比率を算出しています。

(3) 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和6年9月末	令和6年3月末	令和5年9月末
貯 金	301,115	303,492	305,673
貸 出 金	59,575	60,830	60,997
預 金	204,094	208,275	209,145
有価証券	29,174	29,099	29,155

(4) 有価証券等時価情報

【満期保有目的債券】

(単位：百万円)

	種類	令和6年9月末			令和6年3月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が 貸借対 照表計 上額を 超える もの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	政府保証債	-	-	-	-	-	-
	特殊法人債	-	-	-	-	-	-
	金融債・ 銀行社債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	798	813	15	895	918	22
	その他の証券	-	-	-	-	-	-
	小計	798	813	15	895	918	22
時価が 貸借対 照表計 上額を 超えない もの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	政府保証債	-	-	-	-	-	-
	特殊法人債	-	-	-	-	-	-
	金融債・ 銀行社債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	1,597	1,572	△ 25	1,500	1,479	△ 20
	その他の証券	-	-	-	-	-	-
	小計	1,597	1,572	△ 25	1,500	1,479	△ 20
合計	2,395	2,386	△ 9	2,395	2,397	2	

【その他有価証券】

(単位：百万円)

	種類	令和6年9月末			令和6年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価又は償却原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価又は償却原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えるもの	株式	-	-	-	-	-	-
	債券	6,670	6,906	236	9,117	8,785	331
	国債	6,260	6,480	219	8,264	8,887	535
	地方債	409	426	16	647	933	45
	政府保証債	-	-	-	-	-	-
	特殊法人債	-	-	-	-	-	-
	金融債・銀行社債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	0	0	0	205	199	6
	その他の証券	-	-	-	-	-	-
	小計	6,670	6,906	236	9,117	8,785	331
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えないもの	株式	-	-	-	-	-	-
	債券	23,229	19,871	△ 3,357	17,586	20,282	△ 2,696
	国債	19,230	16,471	△ 2,759	13,408	15,584	△ 2,176
	地方債	492	348	△ 143	372	492	△ 120
	政府保証債	-	-	-	-	-	-
	特殊法人債	-	-	-	-	-	-
	金融債・銀行社債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	3,506	3,051	△ 454	3,806	4,206	△ 400
	その他の証券	-	-	-	-	-	-
	小計	23,229	19,871	△ 3,357	17,586	20,282	△ 2,696
合計	29,899	26,778	△ 3,121	26,703	29,068	△ 2,365	

- (注) 1. 9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づく時価としています
2. 帳簿価額は、償却原価法適用後、減損処理後の価額を記載しております。

(5) 地域貢献活動

イ 全般に関する事項

当組合は、今治市（一部区域を除く）及び越智郡上島町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の皆さまが組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。当組合の資金は、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としており、資金を必要とする組合員や地域の皆さまにご融資し、暮らしや事業のお手伝いをさせていただいております。当組合は、地域の一員として、地域農業の発展、組合員の社会的・経済的地位の向上を目的とし、経営理念として「あったか～い、心のおつきあい。」を掲げ、地域農業の創造、心豊かな地域づくり人づくりをめざして事業活動を展開しています。また、当組合の総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、環境・文化・福祉への貢献、地域農業の発展、助け合いなどの貢献活動を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築くことに努めています。

ロ 地域からの資金調達の状況

① 貯金・定期積金残高

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりした貯金の残高は、3,011億15百万円（うち定期積金の残高は55億79百万円）となっております。
貯金者別残高の内訳は次のとおりです。

（単位：百万円）

資格	貯金等残高
組合員等	250,563
その他	50,551
合計	301,115

② 出資金

組合員の皆さまに払い込んでいただいている出資金の残高は次のとおりです。

（単位：百万円）

資格	令和6年9月末	令和6年3月末
正組合員	3,364	3,431
准組合員	2,654	2,703
処分未済持分	—	56
合計	6,019	6,190

ハ 地域への資金供給の状況

① 貸出金残高

組合員をはじめ地域の皆さまへの貸出金の残高は、595億75百万円となっております。当組合では、皆さまの豊かな暮らしを実現することを目的とし、住宅ローン相談会等を実施し、積極的に事業資金や個人向けのご融資に対応してまいりました。

当組合における資格別の貸出金残高は次のとおりです。

（単位：百万円）

資格	貸出金残高
組合員等	50,686
地方公共団体	4,184
その他	4,704
合計	59,575

② 制度融資取扱状況

農業制度資金は、農業経営の改善や経営規模の拡大などに必要な資金で、国・県・市町村の農業施策に基づいて融資される低利の資金です。

当組合における制度資金の取扱状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

資金種類	貸出金残高
農業近代化資金	20
日本政策金融公庫資金 (旧農林漁業金融公庫資金)	6
その他制度資金	6
合計	32

二 文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）

① 文化的・社会貢献に関する事項

食農ふれ愛隊等の活動を通じて、農産物への理解促進、農業を取り巻く問題や食と農に対する関心を高め、農業体験を通じて、食を支える農の役割や楽しさ、食べる事の大切さを伝える食農教育を展開しています。

また、地域の買物弱者を支援しようと管内島しょ部と陸地部で移動購買車「おちいま号」を運行しています。買い物だけではなく、各停留所が地域の憩いの場として賑わうことを願っています。

彩菜サイコーでは、JAおちいまばりの総合的な情報発信拠点、宣伝広告塔の機能を担う事業所として、地域全体の活性化に貢献できる取り組みを進めています。

② 地域貢献活動

職員が消防団員として積極的に消防団活動に協力し、地域防災活動の支援をしています。

また、FC今治及び愛媛マンダリンパイレーツ特別協賛試合やJAおちいまばり元気杯争奪学童軟式野球大会を開催し、スポーツを通じた地元との絆づくりや学童スポーツの振興を支援しています。

③ 利用者ネットワーク化への取り組み

組合員及び地域の高齢者の皆さまが、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、ミニデイサービスや地域行事等への積極的な参加を通じ、高齢者の生活支援活動等を行っています。また、JAおちいまばり女子大学「おちいま～じゅ」と、その修了生らで構成される女性部「フレッシュ16」支部にて、JAの事業内容や取り組み事例についての学習会を行っています。次世代に向けた地域の組合員リーダーの育成を目的とした、JAおちいまばり組合員大学「おちいまキャンパス」を開講し、JAの更なる組織基盤の強化を進めています。

④ 情報提供活動

広報誌「JAおちいまばり」の毎月発行や、公式LINE等のSNSを活用し、JAからのお知らせや組合員・地域等に関する話題を発信しています。また、ディスクロージャー誌の発行、「ディスクロージャーの充実」に係る半期開示、ホームページによる情報提供等、組合員や地域の皆さまに積極的に情報を開示しています。

第9次中期計画については、「地域とともに拓く これからの未来」をテーマとして取り組んでおります。進捗状況は定期的にホームページ、広報誌に開示して、組合員や地域の皆さまと共有をしています。